

「夢かなうまち おびひろ」

# フードバーーとかち

米沢のりひさ の 未来のつくり方

平成26年3月22日

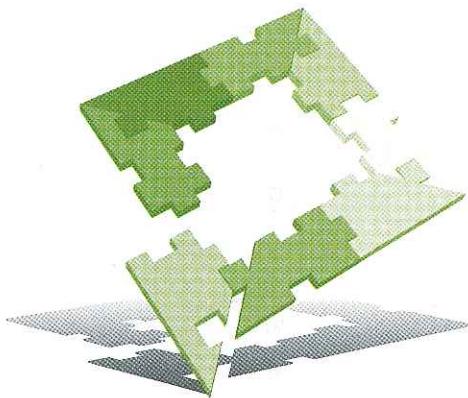
米沢 のりひさ

～Next Stage：加速・深化～

# 見てきたもの、感じたこと

十勝・帯広で、  
国内外で、  
多くの人と出会い、語り合ってきた。

突き抜ける青空、広がる大地、さわやかな風。  
国内第一級の大自然に抱かれた十勝。  
開拓精神を受け継ぐチャレンジャー達。



## 外から見えるもの—「十勝はひとつ」

十勝の可能性は未来に向かって開かれている。  
そして、日本／世界は、十勝が扉を開けるのを待っている。

## 内で感じること—「十勝の強さ」

多くの課題はある。  
しかし、それは壁ではない。未来への扉。  
ただし、扉は地域の力で開けなければならない。

## 4年間、走り続けてきた。見てきた。感じてきた。

この蓄積を地域のさらなる発展に、  
世代を超えて、世代をつなぐ「夢かなうまち おびひろ」の  
実現に繋げていきたい。

# 十勝・帯広の未来に向かって

この地には、「培ってきた農林漁業」、「豊富な地域資源」、「エネルギー」、「恵まれた自然環境」など、他の地域に比して優位な特性・資源があります。

4年間、その特性、資源を活かす地域産業政策「フードバレーとかち」を進めてきました。

地域の「人」に光を当て、「人材育成」、「子育て」、「教育」、「健康」、「コミュニティ」などの政策を進めてきました。

時間はかかる、しかし、諦めずに続け、やり切ることが大切であると思います。

地域づくりを支える主役は、あくまで「人」であるとの信念を胸に、4年間進めてきた様々な政策を有機的・横断的に繋げ、「フードバレーとかち」を十勝・帯広の「地域づくり政策」として加速・深化させ、未来に続くまちづくりを進めていきます。

目指す姿は、広大な大地、きれいな水、澄んだ空気、圧倒的な資源など、十勝の普遍的な価値を基に、「フードバレーとかち」を旗として地域が発展し、全ての人が「とかち」の結びつきを強く感じ、誇りを持ち心豊かに生活すること。

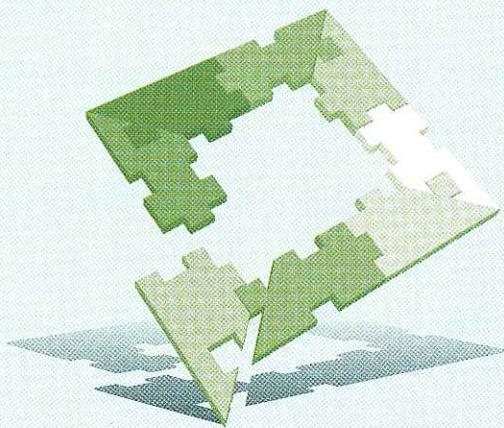
驚きと感動に満ち溢れる暮らし、夢を語る人々、そんな十勝・帯広のまちづくりが日本の未来を拓きます。

## まちづくりの基本姿勢

まちづくりを進めるための座標軸は、「全ての市民の幸せ」です。

「一党一派に偏しない市民党」を視座に判断し、行動します。

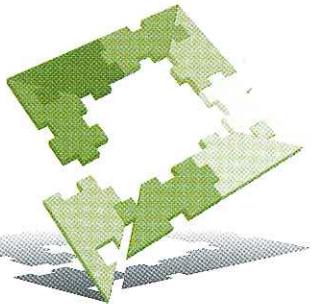
納得感のある開かれた市政、自ら考え主体的に行動する地方自治体、十勝としての一体的な発展に強い意思と行動力を持って、夢を語れるまちづくりに取り組みます。



## 未来のつくり方

帶広市長としての1期4年の経験を礎(いしづえ)に、  
市民のみなさまへまちづくりの主な取り組み方向を  
「未来のつくり方」として、お示しするものです。

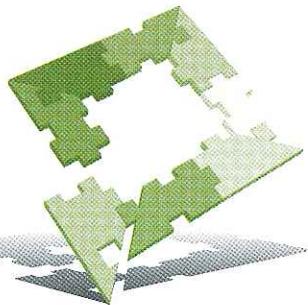
# 未来のつくり方・1 「活力ある おびひろ」



食と農林漁業、環境、エネルギーなど、十勝・帯広の特性・優位性を基盤に、民間企業や大学・研究機関等との連携及び国内外を視野に入れた横断的な取り組みにより「フードバレーとかち」を推進し、ビジネスの創出、雇用の創出、賑わいの創出に取り組みます。

- 1 ICTなどの先進技術を活用し、産学官連携で「十勝型スマートアグリ」を進めます。
- 2 「十勝型GAP」や「と畜場」の整備などを進め、安全良質な「JAPAN・とかちブランド」を戦略展開します。
- 3 新たな価値を創出する企業立地促進のための支援制度を検討します。
- 4 新産業振興ビジョンに基づき、中小企業の経営基盤強化と起業・創業支援を行うほか、未来にチャレンジする人づくりを支援します。
- 5 中心市街地での民間投資などを促進し、魅力と活力を高めます。
- 6 十勝の食と自然、時間と空間を活かした十勝らしい「おもてなし観光」を進めます。
- 7 とかち帯広空港の路線の充実など空港機能を強化し、空港利用を促進します。
- 8 世界で唯一のばんえい競馬を安定的に運営します。

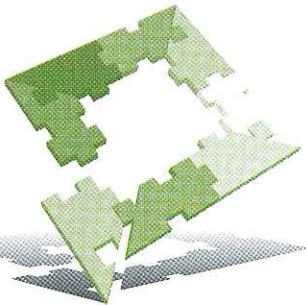
# 未来のつくり方・2 「人輝くおびひろ」



地域づくりの主役は、「人」。未来をつくる子供たちの教育環境の充実を図るほか、生涯学習の推進、地域発展に必要な人材の育成などに取り組みます。

- 9 地域ぐるみで子どもを応援するため、「(仮)こども応援地域基金」を創設します。
- 10 小中連携による新たな教育実践モデルの構築を検討します。
- 11 学校の長寿命化検討及び学校施設の適切な管理を行います。
- 12 子どもたちの健全な心と体を育む美味しい給食を提供します。
- 13 食の十勝の知恵を集めた「(仮)給食センター」によるメニュー開発を進めます。
- 14 健康スポーツ都市の拠点として、全ての人に優しい新しい総合体育館を整備します。
- 15 帯広畜産大学を中心にまちづくり政策と連動した高等教育機関の整備を促進します。
- 16 冬季スポーツを核に国際的なスポーツ交流拠点の形成を進めます。
- 17 夢と口マンあふれる先史にふれる取り組みを進めます。

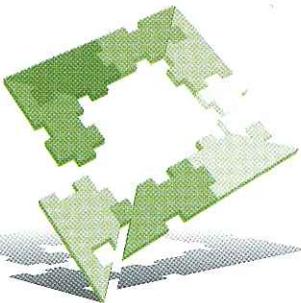
## 未来のつくり方・3 「人に優しいおびひろ」



この地の誰もが健やかに育ち、健康で安心して、生きがいを持って暮らすことができる温もりあるまちづくりを生活者の視点、共に支える視点で進めます。

- 18** 「食と健康の魅力ある都市づくりプロジェクト」を推進します。
- 19** 多様なニーズを基に、「(仮)子ども子育て新プラン」を着実に推進します。
- 20** 「(仮)高齢者いきいき元気事業」を推進します。
- 21** 高齢者が地域で安心して暮らせる支援体制づくりを進めます。
- 22** 障がいのある人へのきめ細やかな支援を促進します。
- 23** 中島靈園に市民ニーズに対応した新たな合葬墓を整備します。

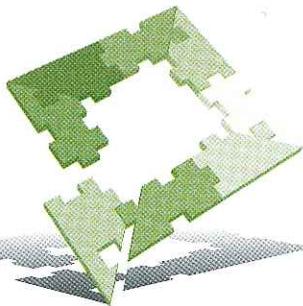
# 未来のつくり方・4 「快適に暮らせる おびひろ」



環境モデル都市として、地域資源等の活用による環境負荷の低減や緑化の推進するほか、都市基盤の適切な管理等を進め、快適に暮らせる循環型のまちづくりを進めます。

- 24 再生可能エネルギー等の活用により、温室効果ガスの削減と地域活力の創出を進めます。
- 25 地域を挙げて十勝バイオマス産業都市構想を推進します。
- 26 帯広の森の施設連携により、帯広の森を楽しむ回廊づくりを進めます。
- 27 市民参加による「(仮)花と語らう癒しの空間づくり」を進めます。
- 28 道路や橋梁などの都市インフラの長寿命化及び適切な管理を進めます。

# 未来のつくり方・5 「未来に続く おびひろ」



少子高齢化や公共施設老朽化など自治体を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、持続的に発展する地域づくりのため、不断に行財政改革を推進するとともに、地域主体、協働、支え合いのまちづくりを進めます。

- 29 行財政運営ビジョンの着実な推進により質の高い自治体運営を進めます。
- 30 公共施設の適切な管理を進めるため「公共施設マネジメント」の導入を検討します。
- 31 市民との対話機会の拡充や情報の共有をさらに進め、市民の知恵と力で、協働のまちづくりを進めます。
- 32 十勝・帯広の産業・経済団体や行政機関など、地域経営者との連携をさらに深め、十勝・帯広の未来を拓きます。
- 33 十勝の優位性を活かした更なる発展と魅力向上のため、広域連携を一層推進します。

～ Next Stage: 加速・深化 ～

## **米沢のりひさ連合後援会**

〒080-2469 帯広市西19条南2丁目29番13号  
TEL 36-6788(代表) FAX 36-6766